

AO-SLOとProgressorによる 近未来症例報告会

オーガナイザーのことば

近年、網膜硝子体疾患や緑内障疾患の診断、治療、経過観察に眼底イメージング機器を適切に用いることがますます重要となってきました。今回のランチョンセミナーでは、網膜の微細構造の形態変化をミクロに捉える技術の臨床応用と、緑内障が進行する中で、視野検査により得られる眼底局所網膜感度の微細な変化を一目で把握できるようなソフトウェアの臨床応用をもたらす臨床上的有用性について2人のスペシャリストにご講演いただきます。

まず森 和彦先生には、緑内障性視野変化を様々な形でまとめ、その進行や治療効果を捕らえるソフトウェアの活用について解説していただきます。続いて板谷 正紀先生には、分解能を向上させた共焦点検眼鏡を用いた網膜疾患や緑内障の超早期診断の可能性について解説していただきます。

測定点別
トレンド解析による
視野進行判定



演者
森 和彦先生
京都府立医科大学
眼科学教室 講師



オーガナイザー
吉村 長久先生
京都大学大学院
医学研究科眼科学 教授

AO-SLOによる
眼底の細胞情報に基づく
眼底診断の幕開け前夜



演者
板谷 正紀先生
京都大学大学院
医学研究科眼科学 准教授

■ 日時 ■

2012年4月6日(金) 12:20~13:20

■ 会場 ■

Room 7「東京国際フォーラム Hall D5」

東京国際フォーラム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

本学会ランチョンセミナーは整理券制でございます。

配布場所: ガラス棟B1 ロビーギャラリー

配布時間: 4月6日 7:30~11:00まで